

鹿島神宮



しくみ

- 元伊勢外宮豊受大神社 499.99km - 鹿島神宮要石 - 戸来岳大駒ヶ岳499.99km
- 元伊勢外宮豊受大神社 499.57km - 鹿島神宮本殿 -大石神ピラミッド499.57km
- 金剛峯寺 499.83km - 鹿島神宮奥宮 - 戸来岳大駒ヶ岳 499.83km
- キリストの墓 501km - 鹿島神宮要石 - 501km 高山神社

※このサイトで紹介するしくみは建物や山頂など全てピンポイント同距離でつながります

しくみ詳細

- 元伊勢外宮豊受大神社 499.99km - 鹿島神宮要石 - 戸来岳大駒ヶ岳499.99km

勝頂角

鹿島神宮要石

大地の最も深い部分である金輪際から生えている柱と言われ、この柱で日本は繋ぎ止められているという。同じ設定を持つ場所に琵琶湖の竹生島がある。また、日本書紀では「鹿島動石（ゆるぐいし）」「伊勢大神宮」など、漂う日本を大地に繋ぎ止める「国中の柱」とされる場所が全国に点在しているとされていた。『詞林采葉抄』などの文献資料から、神仏習合を経て14世紀中頃に要石のイメージは固まったと見られる。

地上部分はほんの一部で、地中深くまで伸び、地中で暴れて地震を起こす大鯰あるいは竜を押さえているという。あるいは貫いている、あるいは打ち殺した・刺し殺したともいう。龍は柱に巻き付いて国土を守護しているとも言われる。

そのためこれらの地域には大地震がないという。ただし、大鯰（または竜）は日本全土に渡る、あるいは日本を取り囲んでいるともいい、護国の役割もある。なお、鹿島神宮と香取神宮は、日本で古来から神宮を名乗っていたたった3社のうち2社であり（もう1社は伊勢神宮）、重要性がうかがえる。

茨城県鹿嶋市宮中2306-1

左負角

元伊勢外宮豊受大神社

延暦23年（804年）の『止由氣宮儀式帳』に、雄略天皇が天照坐皇太神の夢託を蒙り、御饌都神（みけつかみ）として等由氣太神（豊受大神）を丹波国から伊勢に迎えたのが外宮であると記す。それに基づいて雄略天皇22年に伊勢へ遷座したその故地であるという。あるいは、元鎮座地は比沼麻奈為神社（現京丹後市峰山町久次に鎮座）であるが、雄略天皇22年に伊勢へ遷座する途中で当神社の地にしばらく鎮座し、その跡地に建立したものであるともいう。また、それとは別に、用明天皇の第3皇子である麻呂子親王が当地の鬼を退治するに際して、内宮（現皇大神社）とともに勧請したものであるとの異伝もある。

京都府福知山市大江町天田内60



右負角

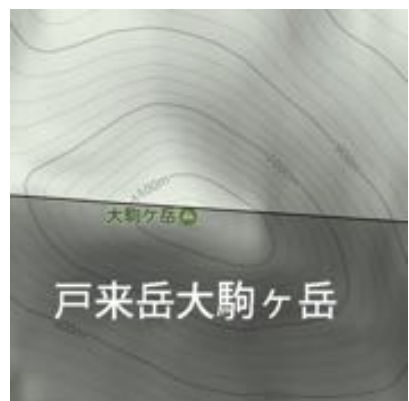
戸来岳大駒ヶ岳

1938年、山根キクは著作『光りは東方より』で十和田湖畔の十和利山（戸来岳）にキリストの墓があるとした。

戸来岳は、何億万年もの大昔、十代高皇産霊天皇の御手に、越中皇祖皇大神宮の御分霊を世界五色人の便利のために本州南北二カ所、即ち山口県の徳佐山と共に御祭祀遊ばされ、その後、皇統第二十四代天仁仁杵天皇の御時に、再び祭祀造営がなされたところである。

キリストは、戸来神宮で約四ヶ月、即ち渡来の年同年四月二十五日から八月二十六日までの間、祈願をして心の準備漸くできたので、愈々大目的である越中の皇祖皇大神宮参拝のため、早速に旅立ち、十六日後の九月十一日、上陸以来実に七ヶ月目に越中に到着、同時に懐かしい師である神官、武雄心親王にも御目にかかることが出来たのである。

この本宮で一週間参籠して、親王から分霊を頂、これを持ち帰って大平（戸来村）に移し、其処に住むこと約五年余り、その間、日本語と文字を学んでから日本国中を巡廻すること更に十年、即位四十八年五月五日、武雄心親王の仲介によって、お久しぶりに垂仁天皇に拝謁し、直ちに戸来岳の麓神宮に戻り仁々杵榮の木の傍に隠遁して、弟子達と共に住まった。『キリストは日本で死んでいる』山根 キク（たまの新書） 青森県三戸郡新郷村



■ 元伊勢外宮豊受大神社 499.57km - 鹿島神宮本殿 -大石神ピラミッド499.57km

勝頂角

鹿島神宮本殿

鹿島神宮御創建の歴史は、初代神武天皇（紀元前586年没）の御代にさかのぼります。神武天皇はその御東征の半ばにおいて思わぬ窮地に陥りましたが、武甕槌大神の「節霊剣」の神威により救われました。この神恩に感謝された天皇は御即位の年、皇紀元年に大神をこの地に勅祭されたと伝えられています。その後、古くは東国遠征の拠点として重要な祭祀が行われ、やがて奈良、平安の頃には国の守護神として篤く信仰されるようになり、また奉幣使が頻繁に派遣されました。

茨城県鹿嶋市宮中2306-1



左負角

元伊勢外宮豊受大神社

※上記参照



右負角

大石神ピラミッド

竹内巨磨がキリストの墓を発見した翌日、（竹内氏に同行していた？）鳥谷幡山という人がこのピラミッドを発見した。「竹内文書」では世界各国のピラミッドの起源は日本にあったとされていて、これがそのひとつだというのだ。後に「竹内文書」研究家にして日本ピラミッド研究の大家・酒井勝軍もこの巨石群を調査し、石の割れ目が正しく東西南北を指していることを確認したという。また大石神ピラミッドからさらに600mほど林道を進んだ所に上大石神ピラミッドというのがあるというので行ってみた。林道から急斜面を200mほど登ると、山頂にやはり巨石が見えてくる。

青森県三戸郡新郷村



■ 金剛峯寺 499.83km - 鹿島神宮奥宮 - 戸来岳大駒ヶ岳 499.83km

勝頂角

鹿島神宮奥宮

慶長10年（1605）に徳川家康が関ヶ原戦勝の御礼に現在の本殿の位置に本宮として奉納したものを、その14年後に新たな社殿を建てるとにあたりこの位置に遷してきたもの。武甕槌大神荒魂

左負角

金剛峯寺

弘法大師が2カ年の入唐留学を終え、唐の明州の浜より帰国の途につかれようとしていた時、伽藍建立の地を示し給えと念じ、持っていた三鈷(さんこ)を投げられた。その三鈷は空中を飛行して現在の壇上伽藍の建つ壇上に落ちていたという。弘法大師はこの三鈷を求め、今の和歌山の宇智郡に入られた時そこで異様な姿をした一人の獵師にあった。手に弓と矢を持ち黒と白の二匹の犬を連れていた。弘法大師はその犬に導かれ、紀の川を渡り峻しい山中に入ると、そこでまた一人の女性に出会い「わたしはこの山の主です。あなたに協力致しましょう」と語られ、さらに山中深くに進んでいくと、そこに忽然と幽邃な大地があった。そして、その1本の松の木に明州の浜から投げた三鈷がかかっているのを見つけ、この地こそ真言密教にふさわしい地であると判断しこの山を開くことを決意された。

和歌山県伊都郡高野町高野山 1 3 2



右負角

戸来岳大駒ヶ岳 ※上記参照

■ キリストの墓 501km - 鹿島神宮要石 - 501km 高山神社

勝頂角

鹿島神宮要石 ※上記参照

右負角

キリストの墓

竹内巨麿は竹内文書に、「イスキリス・クリスマス。福の神。八戸太郎天空神。五色人へ遣わし文」にはじまる記述や「イスキリス・クリスマス」の遺言があるとし、イスキリス・クリスマスはゴルゴダの丘で処刑されず、弟のイスキリを身代わりにして日本に渡来して死に、その墓が「十来塚」であるとする。「古代史書研究会」が戸来村の村名は、ヘブライに由来するとした。川守田英二が現地の伝承歌であるナニヤドヤラがヤハウエをたたえるヘブライ語の歌であるという書簡を戸来村に送った。「桔梗紋」と言われるこの村の旧家に伝わる家紋は五角の形であり、ユダヤのシンボル六芒星「ダビデの星」と酷似しているとシイスラエルの失われた十氏族やイエスとの関わりを指摘する説もある。戸来村では子供の額に健康祈願などの意味合いを込めて墨で黒い十字を書く風習があったという。東京大学の余郷嘉明助教授による世界34カ国にわたるヒトポリオーマウイルス分布調査によれば、コーカソイドに見られるEUタイプウイルスが秋田県で見つまっている。ヘブライ人もコーカソイドであることから、これら遺伝情報調査結果は日ユ同祖論の傍証となっている。



同距離

高山神社

祭神 伊邪那岐命 伊邪那美命

奥州南部地域には八の太郎の昔話が伝わっていました。(秋田では八郎太郎。秋田のものと内容が少し違っているようです) 八の太郎は八戸の十日市で兄達に分までイワナを食べ尽くして大蛇に変化してしまいました。そこで住み家をさがし、最初に目を付けたのが島守盆地だったそうです。八の太郎が鷹の巣川をせき止めると、この地は湖底に沈んでしまうので四十八柱の神々が連合して八の太郎と戦いました。戦いで八の太郎は敗れ、八戸の河原木の八太郎沼へ逃れました。この時、協力しなかったのは高山観音と太平の法霊地蔵です。法霊地蔵は四十八柱の神々に折檻を受け、高山観音は髪を引きずられて高山から下ろされました。その跡には草木が生えなくなると伝えられています。

明治初年まではここに聖観音が祀られていましたが、廃仏毀釈により龍興山神社の虚空蔵菩薩と共に高松寺へ移安されました。

青森県八戸市南郷大字島守



備考

鹿島神宮は、丹後の出雲族と青森の聖地 戸来岳を抑え付ける役割。見事に大石神ピラミッド、そしてキリスト来日説を裏付ける。大石神ピラミッドが戸来神宮であり、大駒ヶ岳が皇祖皇大神宮なのだと推測される。元伊勢外宮豊受大神社は、中州にあるから元々は浮島神社だったのではないか。（浮島神社は、出雲族もしくはそれ以前の一族の神社配置のガイドライン的な存在だったのではないだろうか）また、南祖坊が八郎太郎の八頭の龍を退治した話は青森の蝦夷・出雲族征圧の話であることを裏付けられる。もしかしたら八郎太郎や八太郎は、竹内文書の「八戸太郎天空神」すなわちキリストか。協力しなかった高山の観音と法霊地藏の話の、観音や地藏が出雲族。とすればキリストは蝦夷出雲族か。徳川家康の時代に新御霊として置かれた鹿島神宮の奥宮は出雲族空海の高野山を利用している。高山神社は気をひくためか送るためか。

鹿島+香取神宮の仕事 しくみ地図

